

厳しい時代でも 前を向いて皆で力を合わせて

大竹市長 入山 欣郎

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに
お迎えのことと、お慶び申し上げます。

はじめに、コロナ禍の中、医療従事者の皆様、
介護従事者の皆様をはじめ最前線でご尽力されて
いる皆様に対しまして、心より敬意と感謝の意を
表します。

日本を、世界を変えてしまったこの新型コロナ
ウイルス感染症との闘いはまだまだ時間がかかり
そうです。

歴史を見ますと、天然痘やコレラをはじめ、い
つの時代も人類は疫病との闘いに何度も、打ち克
つてきました。そして、その都度、社会は大きな
変革を遂げています。

現在、新しい生活様式といわれるように日常の
在り方が変わろうとしています。同時に社会経済
のオンライン化やデジタル化が進んでいます。そ
の反面、対面機会の減少や人間関係の希薄化により、
人と人とのつながり、絆の大切さが改めて注目され
ています。一人一人が自身の成すべきことを理解し、
考えて行動することが求められています。

感染対策を徹底しながらも、近所同士の声掛け
や見回りなど地域でのつながりを深め、お互いに
助け合う相互扶助の気持ちを大切に、皆でこの困
難を乗り越えて参りましょう。行政としても、し
っかりとサポートをしていきたいと考えています。

また、まちの整備にも引き続き取り組んで参り
ます。改築した大竹会館はまもなく新しいスター
トを切ります。利便性も良くなり、たくさんの方
にご利用いただけることを願っています。長年の
宿題であった大竹駅周辺整備事業もいよいよ工事
が始まりました。大竹のまちは確実に良い方向に
変わってきています。

厳しい時代でもしっかりと前を向いて、市民の
皆様、大竹のまちに関わる皆様が笑顔で、幸せを
感じながら安心して暮らせるまちとなるよう、一
歩ずつ着実にまちづくりを進めて参ります。

どうぞ引き続きましてのお力添えをお願いいた
します。

本年が皆様にとって平穏で幸多き一年となりま
すよう、お祈り申し上げます、新年のごあいさつと
いたします。

動画配信やSNSも活用し

「開かれた議会」をめざします

大竹市議会議長 細川 雅子

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい希望に満ちた令和3年の新
春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症に始まり感染
対策を講じながら過ごした一年でした。新型コロナ
ウイルス感染症対策に従事される医療・福祉関
係者の皆様、教育現場、配達を担う物流事業者、
スーパーやドラッグストアなどの販売員の皆様を
はじめ、私たちの生活を支えてくださる多くの方々
におかれましては、緊張を強いられる日々が今も
なお続いていることと思います。また、市民の皆
様も、急な生活様式の変化への対応に苦慮されて
いることと思います。

市議会としては、市民の皆様へ寄り添いながら、
国や市が出す緊急施策を効果的に、スピード感を
もって対応・実行できるよう努めてまいりました。

終息の兆しがまだ見えない新型コロナウイルス
との闘いですが、新たな生活様式を前向きに受
け止めてまいりたいと思います。

昨年は、このような中、感染対策を講じながら、

議会報告会を開催することができました。地区ごと
のテーマの選定から地域の皆様に「ご意見をいただき、
それぞれに地域で活発な意見交換ができたことは、
ひとえに地区自治会役員の皆様のおかげと感謝して
おります。皆様から頂いたご意見は、各常任委員会
での調査活動につながっております。解決には時
間がかかると思いますが、一歩ずつ前進してまい
ります。

今年も、昨年行けなかった地区での開催を予定
しています。引き続きご協力をお願いいたします。

また、昨年は、常任委員会中継のYouTube配信
のほか、議会のFacebookを始めました。いずれも
「市民に開かれた議会」をめざし、議会だよりやホ
ームページでお知らせすることが難しい、細かな
議会活動を紹介するものです。是非ご覧いただき、
ご意見をお寄せいただければ幸いです。

結びに、新型コロナウイルス感染症の終息を願
い、この一年が皆様の笑顔あふれた幸多い年とな
りますことをお祈りいたしまして、新年のご挨拶
といたします。

謹賀新年

令和3年
平成33年 昭和96年
大正110年 明治154年
西暦2021年